



第74期 事業報告書

平成19年4月 1日から
平成20年3月31日まで

証券コード:4999

創る、築く。

C E M E D I N E R E P O R T





株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私は、この度、6月27日開催の株主総会および取締役会の選任により、代表取締役社長に就任いたしました。

新体制のもと、更なる改革を推進し、企業価値増大を目指してまいります。

ここに、当社第74期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の営業の状況と決算につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

代表取締役社長 荒井 進

セメダインは、“人を大切にし、より良い製品をより多くの人々に提供することにより社会に貢献する”
1923年の創業以来変わることのないこの企業理念に基づき活動を続けております。

売上高

(百万円)



当期のポイント

売上高
21,751百万円

引き続き提案型営業活動の徹底を図り新製品の開発と新規市場への販売開拓活動に努めましたものの、期後半の建築土木関連市場の冷え込みの影響を免れず、また、一部不採算品の整理をおこなったことにより、当期の売上高は、21,751百万円と前期に比べ0.3%の減少となりました。

経常利益
476百万円

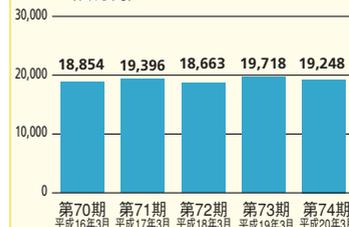
販売価格の是正やコストダウンに取り組むとともに、「セメダイン通商(株)」を当社一般消費者関連市場部門に統合しグループ全体での効率化を推進しましたが、原材料費の高騰等により、経常利益は476百万円(前期比28.7%減)となりました。

当期純利益
288百万円

当期純利益は288百万円(前期比37.1%減)となりました。前期は遊休不動産の売却益がありました。

総資産

(百万円)



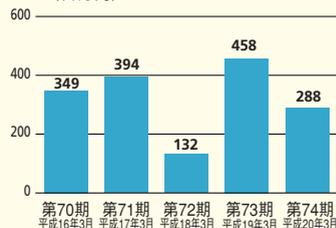
純資産

(百万円)



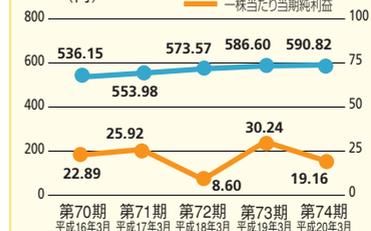
当期純利益

(百万円)



一株当たり純資産／一株当たり当期純利益

(円)



● 事業の経過およびその成果

当期におけるわが国経済は、期前半は好調な企業業績と民間設備投資に支えられ緩やかな拡大基調を維持しておりましたが、期後半には、原油高、原材料高が継続するなかで、米国サブプライムローン問題や急激なドル安など、次第に不透明感が強まってまいりました。

当社グループ関連業界におきましては、価格競争は依然として厳しく、原材料価格の更なる上昇が副資材にも波及し、材料費全体を押し上げるなど、予断を許さない状況のうちに推移いたしました。また、改正建築基準法などに伴う新設住宅着工戸数激減の影響により、特に第3四半期以降、建築関連市場を中心に極めて厳しい状況となってまいりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、引き続き提案型営業活動の徹底を図り新製品の開発と新規市場への販売開拓活動に努めましたものの、期後半の建築土木関連市場の冷え込みの影響を免れず、また、一部不採算品の整理をおこなったことにより、当期の売上高は、21,751百万円と前期に比べ0.3%の減少となりました。利益につきましては、販売価格の是正やコストダウンに取り組むとともに、「セメダイン通商（株）」を当社一般消費者関連市場部門に統合しグループ全体での効率化を推進いたしました。また、原材料費の高騰等により、営業利益は464百万円(前期比29.9%減)、経常利益は476百万円(前期比28.7%減)となり、当期純利益は288百万円(前期比37.1%減)となりました。

● 次期の見通し

国内景気の先行きは米国経済減速の影響、原油・素材価格の高騰、不安定な為替相場などを要因として不透明な状況で推移するものと思われ、原材料価格のさらなる高騰、環境対策における規制強化、改正建築基準法の影響等当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況に対処するため、当社といたしましては、新中期経営計画「Cemedine Action-平成22年(H18年～H22年)(略称CA-22)」を継続し、人を大切にし、社会から信頼される企業として、収益力を向上させ、競争に打ち勝てる企業体質の確立を目指してまいります。

そのためには、脱トルエン、脱キシレン等の環境対策をさらに積極的に推進し、他社との差別化を進めるとともに、「アジアセメダイン(株)」「シー・エヌ・シー(株)」での生産を早期に軌道に乗せ、セメダイングループ全体での企業基盤の強化に努めてまいります。

次期の業績につきましては、連結売上高22,100百万円(前期比1.6%増)、営業利益540百万円(前期比16.3%増)、経常利益550百万円(前期比15.5%増)、当期純利益290百万円(前期比0.6%増)を予定しております。

● 当期の市場別ポイント

● 建築土木関連市場



売上高10,107百万円

市場の冷え込みもあるも
内外装用接着剤の販売が拡大

売上高構成比

46.5%

建築土木関連市場におきましては、内外装用接着剤が好調でありましたものの、改正建築基準法施行に伴う新設住宅着工戸数激減の影響が期後半に顕著となり、売上高は10,107百万円(前期比2.4%減)となりました。

● 一般消費者関連市場



売上高4,782百万円

セメダインスーパーXゴールドの
定番化進む

売上高構成比

22.0%

一般消費者関連市場におきましては、前年度に投入した「セメダインスーパーXゴールド」はホームセンター等で定番化が進みましたが、市場の冷え込み感から販売店での価格競争が激しく、また、当市場の一部を担当していた連結子会社「セメダイン通商(株)」の吸収合併(平成19年10月)を契機に不採算品の取り扱いを中止したことなどにより、売上高は4,782百万円(前期比6.0%減)となりました。

● 工業関連市場



売上高6,861百万円

セメダインスーパーXシリーズ
順調に推移

売上高構成比

31.5%

工業関連市場におきましては、電機市場を中心に産業材向けの「セメダインスーパーX」シリーズの国内販売及びアジア諸国等への海外輸出が引き続き堅調に推移したことから、売上高は6,861百万円(前期比7.5%増)となりました。

Topics 1



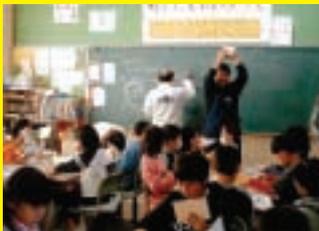
ホビーセレクション

ホビークラフト市場に向けた専用接着剤、『ホビーセレクション』が発売されました。各用途に合わせて、使い易い容器やノズルを採用しました。『紙・布用』、『木・粘土用』、『手芸用』、『タイル・石用』、『金属・ガラス用』と5種類を取り揃え、各種ホビークラフトに対応できるようになっています。

T O P I C S

トピックス

Topics 2



ベルマーク工作教室

セメダインでは、子供達に自らモノを作る喜びを知ってもらうために、平成19年度は工作教室を全国約50会場で開催しました。平成20年度も60会場で工作教室を開催する予定です。またセメダインでは、接着剤業界で唯一ベルマーク運動に協賛しております。セメダインでは、これからも子供達に安全・安心な接着剤を開発、販売してまいります。

Topics 3

スーパーX展示会

工業ルートにおける「スーパーX」シリーズ拡販のため、テクニカルシヨウヨコハマ、電源システム展、難加工技術展の3件の展示会に出展しました。出展商品はスーパーX No.8008やSX720シリーズなどの電気・電子機器関係に使用される接着剤を出展しました。多数の来場者があり、多くのお客様にPRすることができました。



セメダインCCS (住宅環境対策品) 製品ラインアップ

内装・木工・ 金属用



● SG-1・SG-1L

各種内装材の接着剤です。

● PM165-R

コンクリート、金属、プラスチック、
内外装材の接着剤です。

● 水性コンクリメント コンクリメントV

木レンガ等内外装造作の接着材です。

● ボードロック310・ ボードロックSF

キッチンパネル等各種内
外装パネルの接着剤です。

床・暖房用

● UM600V

● UM600

● UM620

● PM26F



木質フローアー材と各種下地材、床暖房
仕上材、根太組付等の接着剤です。

タイル用

● タイルエース タイルエースF タイル石材用

各種タイル、石材の接着剤です。

補修用

● スーパーXシリーズ スーパーXG (ゴールド)

熱・水・ショックに強く、野外でも使え、速
硬化型の高性能多用途接着剤です。

木工用

● 木工用605

木・布・紙等の接着に
長年実績のある接着
剤です。

CEMEDINE
CLEAN&SAFE

やさしさ宣言
CCS

CEMEDINE CLEAN & SAFE

私たちは、接着剤も、環境のひとつとしてとらえています。そこに暮らす人、使う人、そして周りの環境への負担を限りなくゼロにしたい・・・そんな願いを、自主基準としてこれに合格したものだけにつける、CCSマークは「住宅環境対策品」のしるしです。

- ◆ 厚生労働省指針値策定の14物質を使用しない。
- ◆ 毒物・劇物物質を使用しない。
- ◆ アスベストを使用しない。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	13,328,026	14,484,813
現金及び預金	3,826,499	4,566,647
受取手形及び売掛金	6,344,768	7,262,576
たな卸資産	2,098,167	1,870,885
繰延税金資産	153,762	155,852
その他	923,665	642,738
貸倒引当金	△18,836	△13,887
固定資産	5,908,339	5,229,893
有形固定資産	4,106,829	3,396,654
建物及び構築物	2,078,708	1,634,156
機械装置及び運搬具	919,623	631,615
工具器具及び備品	138,177	125,082
土地	970,320	975,920
建設仮勘定	—	29,880
無形固定資産	225,857	147,585
借地権	62,689	62,689
ソフトウェア	138,690	12,705
その他	24,477	72,189
投資その他の資産	1,575,652	1,685,653
投資有価証券	1,001,074	1,243,395
繰延税金資産	500,630	377,723
その他	134,898	79,685
貸倒引当金	△60,950	△15,150
繰延資産	11,899	3,965
創立費	1,365	1,706
開業費	10,534	2,259
資産合計	19,248,266	19,718,673

科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	7,830,628	8,471,635
支払手形及び買掛金	6,276,755	6,685,657
短期借入金	600,000	740,000
一年以内返済予定長期借入金	—	31,700
未払法人税等	108,233	150,543
賞与引当金	252,953	274,098
その他	592,685	589,636
固定負債	2,511,142	2,203,750
長期借入金	480,000	90,000
繰延税金負債	33,161	34,483
退職給付引当金	1,520,866	1,634,087
役員退職慰労引当金	149,272	156,742
その他	327,843	288,437
負債合計	10,341,771	10,675,386
純資産の部		
株主資本	8,740,314	8,672,670
資本金	3,050,375	3,050,375
資本剰余金	2,676,947	2,676,947
利益剰余金	3,115,498	2,948,496
自己株式	△102,506	△3,148
評価・換算差額等	37,024	218,705
その他有価証券評価差額金	83,698	280,951
為替換算調整勘定	△46,673	△62,246
少数株主持分	129,156	151,910
純資産合計	8,906,495	9,043,286
負債純資産合計	19,248,266	19,718,673

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期	前期
	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	(平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高	21,751,873	21,824,717
売上原価	16,219,728	16,057,097
売上総利益	5,532,145	5,767,619
販売費及び一般管理費	5,067,729	5,104,978
営業利益	464,415	662,641
営業外収益	93,055	78,032
営業外費用	81,279	73,168
経常利益	476,192	667,505
特別利益	126,881	297,005
特別損失	113,225	135,725
税金等調整前当期純利益	489,847	828,785
法人税、住民税及び事業税	191,325	185,843
法人税等調整額	8,218	159,939
少数株主利益	2,042	24,636
当期純利益	288,261	458,365

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期	前期
	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	(平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	404,875	577,338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△842,425	△363,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,307	△107,153
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,337	△1,031
現金及び現金同等物の増減額(減少△)	△463,195	105,873
現金及び現金同等物の期首残高	4,093,062	3,987,189
現金及び現金同等物の期末残高	3,629,867	4,093,062

■ 連結株主資本等変動計算書

当期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	3,050,375	2,676,947	2,948,496	△3,148	8,672,670	280,951	△62,246	218,705	151,910	9,043,286
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△121,259	—	△121,259	—	—	—	—	△121,259
当期純利益	—	—	288,261	—	288,261	—	—	—	—	288,261
自己株式の取得	—	—	—	△99,358	△99,358	—	—	—	—	△99,358
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△197,253	15,572	△181,681	△22,754	△204,435
連結会計年度中の変動額合計	—	—	167,001	△99,358	67,643	△197,253	15,572	△181,681	△22,754	△136,791
平成20年3月31日残高	3,050,375	2,676,947	3,115,498	△102,506	8,740,314	83,698	△46,673	37,024	129,156	8,906,495

■ 貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期	前期
	(平成20年3月31日現在)	(平成19年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	12,189,609	13,670,723
固定資産	5,643,696	5,035,275
有形固定資産	2,733,137	2,929,512
無形固定資産	218,106	140,931
投資その他の資産	2,692,452	1,964,831
資産合計	17,833,305	18,705,999
負債の部		
流動負債	7,622,961	8,337,550
固定負債	1,906,499	1,975,975
負債合計	9,529,460	10,313,525
純資産の部		
株主資本	8,220,162	8,112,460
資本金	3,050,375	3,050,375
資本剰余金	2,676,947	2,676,947
利益剰余金	2,595,346	2,388,286
自己株式	△102,506	△3,148
評価・換算差額等	83,682	280,012
その他有価証券評価差額金	83,682	280,012
純資産合計	8,303,844	8,392,473
負債純資産合計	17,833,305	18,705,999

■ 損益計算書

(単位:千円)

科目	当期	前期
	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)	(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)
売上高	21,059,394	21,064,955
売上原価	15,843,633	15,796,315
売上総利益	5,215,761	5,268,639
販売費及び一般管理費	4,795,306	4,763,171
営業利益	420,454	505,467
営業外収益	112,756	93,905
営業外費用	68,172	73,119
経常利益	465,039	526,254
特別利益	68,777	266,405
特別損失	8,557	103,450
税引前当期純利益	525,259	689,209
法人税、住民税及び事業税	158,212	130,938
法人税等調整額	38,727	157,411
当期純利益	328,319	400,858

■ 株主資本等変動計算書

当期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金 その他 利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計			
		資本準備金	資本剰余金 合計								
平成19年3月31日残高	3,050,375	2,676,947	2,676,947	158,000	2,230,286	2,388,286	△3,148	8,112,460	280,012	280,012	8,392,473
事業年度中の変動額	—	—	—	—	△121,259	△121,259	—	△121,259	—	—	△121,259
剰余金の配当	—	—	—	—	328,319	328,319	—	328,319	—	—	328,319
当期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△99,358	△99,358	—	—	△99,358
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	△196,330	△196,330	△196,330
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	207,059	207,059	△99,358	107,701	△196,330	△196,330	△88,628
平成20年3月31日残高	3,050,375	2,676,947	2,676,947	158,000	2,437,346	2,595,346	△102,506	8,220,162	83,682	83,682	8,303,844

(平成20年6月27日現在)

会社の概要

商号	セメダイン株式会社 (CEMEDINE CO., LTD.)
本社	〒141-8620 東京都品川区東五反田4-5-9
設立	昭和23年4月22日 (創業大正12年11月)
上場取引所	東京証券取引所 (市場2部)
資本金	30億5,037万5千円
従業員数	281名
主な事業内容	接着剤・シーリング材・粘着材・特殊塗料・コーティング剤およびその加工品の製造販売 接着および防水等に関する施工および請負
主要取引銀行	りそな銀行 三菱東京UFJ銀行 常陽銀行 三菱UFJ信託銀行

取締役および監査役

代表取締役会長	黒川 靖生	
代表取締役社長	荒井 進	
常務取締役	生井 照雄	事業本部長・生産・物流統括部長兼茨城工場長
常務取締役	松本 有祐	管理本部長・人事総務部長
取締役	成塚 隆男	品質統括部長
取締役	猪瀬 一弘	管理部長
取締役	杉浦 條二	営業統括部長
監査役(常勤)	高津 正治	
監査役	児島 政明	
監査役	小澤 徹夫	
監査役	細野 幸男	

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	15,167,000株
株主数	1,171名

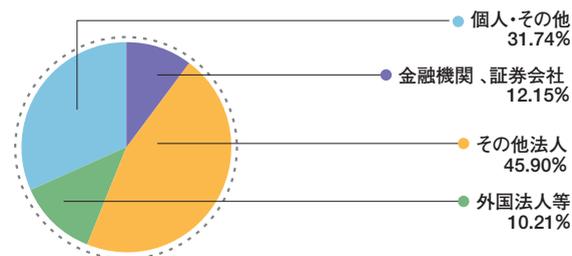
大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社カネカ	2,928	19.70
Henkel KGaA (ヘンケル社)	1,517	10.21
セメダイン共栄会	1,466	9.86
三菱商事株式会社	1,008	6.78
東レ・ダウコーニング株式会社	563	3.79
株式会社三菱東京UFJ銀行	550	3.70
株式会社りそな銀行	400	2.69
信越化学工業株式会社	400	2.69
株式会社常陽銀行	300	2.01
日本ウイリング株式会社	270	1.81

(注) 出資比率については、自己株式 (310,683株) を控除して算出しております。

株式の分布状況

所有者別状況



■ 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 利益配当金 及び中間配当金 利益配当金は、毎年3月31日現在、中間配当金を支払う場合は、毎年9月30日現在の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主または質権者にそれぞれ支払う。
- 定時株主総会 決算後3カ月以内
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。
電話 (通話料無料) 0120-244-479 (東京)
0120-684-479 (大阪)
- インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 公告方法 当社のホームページ
(<http://www.cemedine.co.jp>)
(やむを得ない事由によって、ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします)
- 証券コード 4999

■ ご案内

■ 株主優待制度の内容

- (1) 対象株主
毎年3月31日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された1単元(1,000株)以上保有の株主様。
- (2) 優待品
2,000円~3,000円相当の当社商品を贈呈することを基本といたします。
- (3) 贈呈時期
毎年、定時株主総会後(6月下旬~7月上旬)に送付する予定です。

■ 単元未満株式ご所有の株主の皆様へ

単元未満株式(1~999株)の「買取請求(ご売却)」に関するご案内

単元未満株式は、法律の規定および当社の株式取扱規程に定める手続きに基づき、当社に対し時価で売却すること(買取請求)が可能となっております。

この度、この単元未満株式の買取請求(ご売却)について、単元未満株式ご所有の株主様には、これとは別に郵送でご案内させていただきますので、本株式の買取請求(ご売却)を希望される株主様は、お手続きくださいますようお願い申し上げます。

なお、このご案内は、単元未満株式の買取請求(ご売却)を強制するものではありません。

 **セメダイン株式会社**

本社
〒141-8620 東京都品川区東五反田4-5-9
Tel:03-3442-1331



本冊子は環境保全のため再生紙を利用し、大豆インキで印刷しています。